京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●溫陽溫泉の近況
（韓國唯一の清遊地）

▲附近の設備　居留民會の手にて附近の小山に櫻、松などを植付け池を堀りて公園をしつらひ大に風致を添へん計畫なるが溫泉より十二三町を距てゝ溫陽川あり釣竿を肩にして一日の清遊を恣まゝにするに可なり

▲浴槽　は日本人向一韓人向一衛戍病院分院專用一なるが目下居留民會にて穿ちつゝあるは褐濁して鐵泉らしく一ケ月後には良否判明すべし

▲旅館　は溫陽館と呼ばるゝもの一他に怪しげなるもの一あり尚ほ下層向浴客の爲め建築中のもの一ケ月後に落成すべく之は木賃風にて輕便なる由なるが目下宿料は三圓二圓一圓迄逗留客には割引法もある由なり客は一日約十人位天長節より二月頃にかけては避寒遊獵の客多し夏に尠きは交通の不便にもよるなるべし昨年冬は廿余の客室充滿したり

▲道路　目下は不便殊に本年道路工事の爲め車不通となりしが近來漸く通せり天安より約二十町溫陽より溫泉里迄一里の間巾二間の道を作る筈にて會社より三分一郡より賦役全部（橋梁監督は會社より）内部より七千四百圓の補助を仰ぐ筈にて出願中なるが來月中旬許可を得ば本年内に竣工すべく其上にて輕鐵布設の計畫にて動力は汽力を用ゐる積なりと

▲居留民　は十戸にして外に衛戍病院あるのみなるも浴客及び入院者多く中々に賑はへり韓人の浴客も往來頻繁なり平津に通ずる故米穀類も豐富一升十錢内外鷄卵も多く冬季は鴨多し市は五と六との日交通便利とならば浴客は大に增加すべし

●大田と鳥致院の呉越

大田歸客の談によれば近時大田鳥致院の兩地は三南鐵道分岐點撰定問題の爲め其反目甚だしく就中鳥致院人士の大田人士に對する反感は絶頂に達し大田よりの商品を排斥し大田居留民の商業の爲め交通するものに妨害を與ふる等宛然小なるボイコットを行ひ居る有樣なりといふ

●衛生會の大活動

一昨二十一日菊池大韓醫院長、藤田軍醫監、松井警務局長若林警視總監、鈴木度支部次官代理、三浦理事官、山形憲兵分隊長、金允植、劉士木局長、厳衛生局長、張漢城府尹、兪漢城府民會長の諸氏内部に參集して虎疫豫防に關する會議を開き憲兵をして警察を援助し且人夫劭五十名を雇ひて之れを補助せしむることゝなり又一方毎日午後二時より岡漢城府衛生會長、虎疫巡視官たる若林總監三浦理事官熊谷民長等内部に會同して之れが實行を促すと共に藤田軍醫監は一昨年に於ける虎疫に經驗あるを以て專ら巡視の任に當ることゝなりたり尚昨二十二日藤田軍醫監は内部に於て虎疫豫防に關する談話を爲す

俳句

●第六回月次集　すみれ會

▲踊　むら判
（結、馬子野鳥多遠山二十天由利白進）

◎秀逸

輪を拔て泣く子に見する踊哉　萩水
踊子や意氣なしほりの頬冠り　不美女
磯濱の海士も交つて踊りかな　六坊
調子づく振舞酒やぼんをどり　月哉
盆踊り踊りたそうな白歯孀婦　中庸
野男の去年にすぐれし盆踊り　精華
輪になりて戀人遠し盆をどり　秋花
天秤を昇く手にかゝろし盆踊り　月哉
横雲の白みてをどり崩れけり　不美女
歸り道空白みけりぼんをどり　秋花
子の嫁に欲しいのも居る踊哉　月哉
馬方の赤鉢卷やぼんをどり　中庸
子は人に抱かせて女房踊り見　萩水
音頭取る海士の勇みや盆踊り　六坊
盆踊り遠音にひゞく音頭かな　秋花
野路戻る踊り崩れのぞめき哉　萩水

◎

何の顔も白き月夜の踊りかな　玉糸

むら

○回をかさぬる毎に著しく進歩の跟わるは爭ふべからず
○然れども香れ人とも所謂月並臭味を脱せざる所あるも又爭ふ可らざる事實とす
○就中自句五章の如きは其の尤なるもの汗顏に堪ねず候
○卷を通じて判ずるに笹波子の朝顔を壓卷とし精華子の初秋の句之れに次ぐ共に取材新しければ也、盲批多謝

中山大納言

第五十九席　桃川燕玉演

所が彦九郎と云ふ人は誠に世事に疎い、余り人に能く思はれない質だから、他の人が此を聞いて「そいつは飛んだ事だ、あの男が上から御褒美でも戴くと、此方們が飛んでもない迷惑をしなければならない、あんな者は事に依つたら牢に叩き込んで殺して仕舞はう、と云ふ、世の中に理窟の解らない者程恐い事はない、近邊の放蕩無賴の破落戸が密に上役人へ密告をした、高山彦九郎と云ふ奴は常に大小を手挾んで方々徬徨つて、浪人者と懇意を致し、所謂謀反でも企てやうと云ふ人物、屹度御取調が宜しうございますと讒言を致した、是が大勢の口から訴へ出でましたに依つて、そこで上役人に於ても捨て置く譯にはいきませぬから、早速彦九郎を御呼出しに相成り、吟味中入牢申付けると、ポーンと御牢内に打込まれて、早速江戸表へ送られました、當時名代の曲淵甲斐守と云ふ御奉行が御取調べ、高山彦九郎を白洲へ呼出しまして、見るも頗る宜い人物だ、顏の色は紅を塗つたやう、鼻筋通り口大きく、筋骨逞しく、額の鬢はふつさりとして、實に美しいのなんの、立派やかな人物でございます、そこで曲淵甲斐守が　甲「コリャ上州新田郡細谷村の産高山彦九郎面を上げイ、其方農家に生れながら常に帶刀をして往來を致す由、是は如何の次第であるか、御答を申上げろ」　彦九郎は頭を上げ　彦「左樣でござる、拙者先祖の儀は新田左中將義貞の臣高山遠江守、南朝へ御奉公仕つて以來拙者に至つての二十餘代、一人として刀劔を帶せざる者はございませぬ、拙者の家は先祖代々兩刀を手挾みまする、故に拙者も朝夕兩刀を手挾み往來を致し　甲「承ればす其方諸國往來に及び有名の人を尋ねて交際を致す由、是は如何の心得で致すのだ　彦「左樣でムる、元龜天正の戰國の世でござれば武者修業と云ふものがございまするが、今日は太平の世の中、諸國往來を致し、有名の人に交りまして、善き事を承らんと存じ、それが爲め諸國往來をする別に考はございませぬ唯君へ忠、親へ孝、忠孝二道を心得まする外は分別はございませぬ　甲「ウム、して其方は仕官をする心があるか、第一其方平素の望は何だ、武術を以て世に立つ考へか乃至は學者を以て世に立つ考か　彦「左樣でござる、之を以て身を立てやうと云ふのはなか／＼容易な事ではございませぬ、道の行はれざるに祿を貪りまするは甚だ宜しくない、學問と申すものは人倫を明に致しまする所以、士の道を志しまする者は恐らく悉く儒者でございまする、拙者は讀書を好みまするが文士を以て名くるは喜びませぬ、擊劍も好みまするが武術を以て身を立てやうと云ふ考へもございませぬ、只一通り之を學びましたゞけの事で、別に是と云つて申立てる程の事はない　甲「イャ／＼汝が申す所、文學者に非ずとは申すものゝ、汝は道を以て專ら任じて居る、所謂儒者とも申すべきもの、大學を講じまするやう申付ける」是から大學の講義をさせた。すると辨舌滔々として、いやどうも理義明瞭に講釋を致しました、曲淵甲斐守之を聽いて殊の外感服を致し　甲「如何にも天晴なる事である、嫌疑は晴れたに依つて早々引取つて苦しうない、唯迷惑であつたらう」と懇に勞はりまして白洲を出た、されば高山彦九郎一度出牢はしたが、どうも國に居る兄の專藏と云ふ人と折合が惡い、國の者も彦九郎を忌み嫌ふ氣色がございまするから、今は國へ歸る譯にも行かず、且又今迄不平だら／＼で世を送りましたのが、松平越中守が現れ出で朝廷を敬ひ下を慈みまする所から、彦九郎がら、と心が一變して、あゝ有難い結構な世の中になつたわい、と其時分に詠んだ歌に

治まれる世に住む甲斐も有明の
月は隈なき光なりけり

と喜びの餘りに詠みました、扨今日になつて見ると他に行く處もございませぬから、そこで江戸へ留つて江上關龍と云ふ當時有名の擊劍家がございました、此方へ暫く足を留めました。豐前の中津奥平の藩に劍術の達人で樂父七と云ふ人がある、此人とも入懇懇意を致しました、水戸の治保公の家來で名代の立原翠軒、それに藤田治郎左衛門、此御方は有名の藤田東湖の親父さん、幽谷と云つて、當時高山彦九郎は四十餘歲藤田治郎左衛門名前は年寄のやうだが、まだ年は十三だ、大層歲は違ひまするが、扨天下の達人と云ふ者は違ふ、同氣相求めまする所から兄弟同樣に懇意を致し、彦九郎も水戸の藤田治郎左衛門幽谷には舌を捲いて感服をした、どうも末頼母しき天晴なる神童、豪い者だと云つて屢々訪づれる、藤田治郎左衛門も高山彦九郎と云ふ人は天下の豪傑、頼母しい者だといつて何時も懇意を致しました。

●割烹界の福音
味の素

「味の素」は調味料として、和洋料理には勿論、一般の家庭に是非缺くべからざるもので、旅行の時などに携帶せられたならば、如何なる邊鄙な土地でも、食物の不味きを訴ふるてとはありません、その上鰹節や、昆布の樣に色々御加減の手數も入らず誰れにでも克く即座に忘れる事のできないうまい飲食物を調理するには「味の素」の外にはありません。一瓶金四十五錢、他地方は引替小包にて送ります

韓國特約店
歐米雜貨　洋酒食料品　洋煙草類　金銀細美術品
直輸入商
京城本町二丁目　本店　電話二四八番
同　三丁目　支店　電話三一六番
辻屋

牛馬犬豚
治療所（入院隨意）
京城明治町三丁目（電話四二七番）
小川家畜病院
獸醫　小川龜太郎

エジプト煙草新荷着

エキストラファイン　黒卷	金口百本入	一圓二十錢
スペシャル	金口同	一圓二十錢
アレキサンドラ	金口同	一圓五十錢
オリンピア	キルクロ同	一圓八十錢
ケジーブ	金口同	二圓
エキストラワイン	兩切同	二圓
フロードオリエント	兩切同	三圓

皆さん純粹のエジプト烟草を御召なさい
歐米雜貨　洋酒食料品　洋煙草類
直輸入商　京城　辻屋
他地方は一個にても代金引替小包にて御送附可申候也

謹啓各位益々御清適奉敬賀候陳者弊亭儀從來永樂町に於て營業罷在候處今般理事廳横（元みやこ亭跡）へ引移り候就ては室内を改善し料理は尤も御手輕を旨とし層一層勉强可仕候條何卒倍舊の御引立偏に奉懇願候敬具

會席御料理
京城旭町二丁目（元みやこ亭跡）
蝶々
電話六三〇番

滋養品の服用期は今日なり

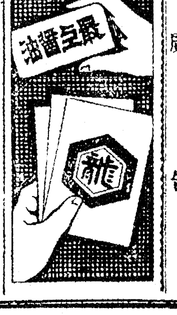
人體之肥料

暑中の牛乳は特更に腐敗し安くして危險なり

次亞燐を持藥として服用せば夏痩せ夏負けの憂ひなく衰弱を防ぎ元氣旺盛なり

効牛乳の數倍

廣告



美術半衿帯上帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 金ゑり徳商店

京城新報

秋の彼岸

彼岸に入りてより既に三日、本日は乃ち彼岸の中日、秋季皇靈祭にして帝國の祭日國民一般に業を休で靈を祀る、仲秋の空清く、氣候は暑からず寒からず、萩は半ば散りたれども、野に山に秋草咲亂れて郊外の逍遙には最と好き季節也、異に是れ好箇の安息日とや言はまし。

一年に二回の彼岸あり、一は仲春一は仲秋、そも此彼岸なるものは、佛者が生死の海に喩へて定めたるものと聞く、煩惱を脫せずして人間に迷ふを此岸とし、佛果を得るを彼岸とし、西方往生をなすには冬夏を取らず春秋の二節を取る、そは春秋の二節は正東より日出で、直西に日沒するを以て彌陀の所在を衆生に正しく指示し、往生の願を遂げさせん爲め、此二節を以て彼岸と名けたりとかや、余輩は素より佛說に就ては全く門外漢なれば、彼岸なるものが果して斯の如きことより定められたるものなりや否は知らず、然れども春秋二季の好季節に彼岸なる日を定めて、巡禮若しくは寺詣でをなさしめて、善男善女に佛心を喚起せしめたるの智を推稱せずんばあらず、啻に佛心を起さしむるのみならず、春の花秋の草、天然の美に接觸せしめて人情を緩和せしむるの工夫は更に歎美の價値なくんばあらず、斯く考へ來れば日本に於ける佛法の感化も亦偉大なる哉。

見ずや祖國に於ける彼岸の狀態を、巡禮と稱して老若男女が嬉々として三十三ヶ所の札所を巡り、或は珠數つま繰りて其歸依する寺院に開かるゝ彼岸會に詣でゝ南無阿彌陀佛を唱ふ、其傍に小供は嬉々として戯れつゝあり、此等の狀態を見て思ふに彼岸は善男善女の清き娛樂日也、斯る清き娛樂的安息日、神社寺院に詣でゝ宗敎的感化を受けつゝ樂むの風は國民に最も善き感化を與ふ、之を思ふ毎に余輩は殖民地にも此美風の普及せんことを望む、在留の宗敎家たるもの何ぞ思ひを玆に致さゞるや、徒に葬禮讀經を事とするを以て僧侶の任となす勿れ、娛樂の中に佛果を得さする賢き手段を取らざる可らず、唯夫れ彼岸會を開きて信徒を集め乾燥無味の說敎を以て無意味に南無阿彌陀佛と叫ばしむるの何の効かあらんや、寺院は最も淸き娛樂場たるの意味なかる可らず、善男善女の淸き社交倶樂部たるの意味なかる可らず、斯くして始て宗敎が活きたる感化を與ふるに至る也。

嗟呼秋の彼岸に逢せり、我韓國經營の彼岸には何時逢すべきか、殖民政策は未だ一定せず、統監府は保護政治に忙はしく、東拓會社は漁場の貸付及び貸出金に依りて利を得るに多忙なり、百年の大計たる移民の經營は誰が手を俟て施設せらるべきか、大陸經營の前途頗る遙遠、何時彼岸に達することを得べき耶、噫。

東京電報

▲韓銀株割當に着手

韓國銀行創立事務所にては株式申込書の記入を了はり按分比例を以て割當に着手せり(廿三日午後)

▲一進會と韓銀株

一進會の申込める韓銀株五萬株に對し二万を與ふとの說あるも右は無根なりと當路者は語れり(同上)

▲主計局長の說明

橋本主計局長は進步黨非改革派の訪問に對し韓國銀行は不動產抵當貸付を行ふべきも其目的は商業資金の貸付にあり又東拓會社は漁業權を賣りて私利を營むとの批難あるも斷じて斯かる計劃なしと說明せり(同上)

▲大藏證券の借換

既電大藏證券の借換に就ては國庫の都合に依り三千八百万圓は全部日步一錢一厘に借換發行する事に決定したり(同上)

▲駐清公使の歸朝

北京駐剳全權公使伊集院彥吉氏は對淸問題今後の方針に關し打合の爲め十月二十日頃歸朝すべし(同上)

▲下院委員制の改正

現在の衆議院委員制を根本的に改正すべしとの議當局者間に起れり其改正案の要旨は委員制度は凡て議長の指命とし內閣、大藏、農商務、外務、司法、文部、陸海軍、遞信の九部に委員を分ち之を更に豫算、決算、法律、請願、懲罰、建議の六課に分ち各課の委員は之を異にすると同時に議案の提出ある毎に議長は衆議に從ひ之を夫々各部各課に配付する組織なり(同上)

▲委員制問題觀測

別電衆議院委員制度の改正に就ては現行議院法に改正の必要あるを以て假に衆議院を通過するとするも貴族院に於て一紛亂は免れざるべしと政客は觀測し居れり(同上)

▲陸軍士卒の增給

來年度より陸軍下士卒にも增給を行ひ卒は一ヶ月一圓五十錢下士に對しては三割を增給する事となり陸軍省豫算に計上せり其結果總額に於て二百万圓を增額せり(同上)

▲日糖債權者會議

日糖債權者會議は連日開會し居れるが本日を以て整理の一段落を告ぐる筈(同上)

▲鐵道院服制改正

鐵道院職員九万人に對する服制改正案は漸く法制局との間に協定纏まりたるを以て鐵道院にては近く上奏裁可を經て來る十月勅令を以て發布すべし(同上)

▲司法法規の編纂

韓國司法權實施に伴ふ各種法規の內關查結了し韓國法部書記官松寺竹雄氏右全部を携へ本日(二十三日)歸韓の途に就けり(同上)

▲西島中將の謁見

陸軍中將西島助義氏は昨二十二日參內拜謁仰付られ在韓中の軍務を伏奏したり(同上)

▲韓國留學生虎疫

韓國留學生監督中開榮は門司にて虎列剌に罹り昨二十二日午後六時死亡したり(同上)

▲野球戰と參觀人

昨二十三日慶應義塾に於て施行したるウイスコンシン大學對慶應義塾の野球仕合は參觀人五萬餘人に達し非常の盛會を極む(同上)

▲慶應選手の勝利

慶應義塾とウイスコンシン大學との野球仕合は二に對する三にて慶應の勝利に歸せり(同上)

紐育電報

▲クック氏の歡迎

北極探險家クック氏は一昨二十一日紐育に歸着せり市民は滿腔の熱情を捧げて歡迎せり(二十三日東京經由)

桑港電報

▲在布清人の義俠

過般布哇の同盟罷工を煽動したる罪に依り收監中の日布新聞記者根比外三名は第一審に於て有罪の宣告を受けたるが其後上訴中各被告は保釋出願したるも保釋金なきを以て出獄する能はざりしが此程或義俠なる一清國人は一千弗を納入して一同保釋を許されたり(廿三日東京經由)

▲ミ州知事の逝去

米國ミチンタ州知事ジオンソン氏逝去す(同上)

雜報

●韓國に於ける畜牛

當局者の談によれば韓國全道に於ける畜牛の現在數は四十五萬八千餘頭にして其中最も多數なるは平安北道の五萬七千七百七頭咸鏡北道の五萬七千四百三十五頭慶尙北道の五万一千頭及慶尙南道江原道の四萬九千餘頭にして其他は三萬頭內外に在り然れども如上の統計は遺憾ながら精確を保證する能はず思ふに其實數は八十萬以上の頭數ならん然らば確實なる統計は更に後日の調査に待たざるべからずと云ふ

●咸興日本人會の縮少

過般咸鏡南道咸興日本人會に於ける評議員補缺選擧を行ひたるが當選者中會の整理難を聊ち辭表を提出したるものあるにより村池元山副理事官は之れが調停の爲め來咸したるに議員中敎育事業を經營するに止め土木衛生勸業等は會の事業より削除すべしと說きたる村地副理事官は咸興の現狀を既往の經過とに鑑み會の事業は消極的に縮少の方針を採るは適當の方法なるべきも全然同會を解散するは輕便鐵道其他事業の經營上不便不尠所以を陳述慰諭したるに何れも之れに贊同十一月迄現狀維持に決し其間に於て從來の未納會費を徵收整理することゝし十二月を以て愈々縮少することに決したり

●忠北方面の產業狀況

忠淸北道十九郡に於ける輸出の輸入に超過せる地方は淸州、陰城、忠州、丹陽、青山、文義、懷仁の七郡のみにして他の十二郡は輸入輸出に超過し其總額十五萬一千餘圓なるが單に之れのみにては地方窮迫の狀を證明する能はざるも亦以て地方產業の現狀を知るの一班たらんか而して徵稅法の改革、貨幣制度の變更及び在來信用制度の打壞は益々地方の通貨を缺乏せしめつゝあるものにして之れが救濟の策は各種の產業を獎勵するにあるは勿論なるも可成地方に有利の事業即ち道路の修築、水利の整理等を爲すは蓋し今日に急ける急務たるべし

●間島地方凶作と粟價

間島に於ける重要產物たる粟は結實前に於て害蟲發生し近時被害の程度の著しく增加し來りたるを以て同地方より粟の供給を受けつゝある北韓農民は一般に杞憂の念を抱き居れり而して平時に於ける粟一石の市價は五圓四五十錢なるに數日前より七圓餘に暴騰し尙昂騰の傾向あるより殆んど輸入皆無の有樣となりたれば運送業者の如き毎日業を休み居れり

●分隊長會議と其宿舍

憲兵隊本部にては來る二十五日より三日間分隊長會議を開く由は既報の通りにして既に禁山浦分隊長大原大尉及び間島分隊長代理平田中尉は着京したるが目下虎病猖獗なるを以て万一其旅舘等に發生する事共あらば會議を中止する等〇〇〇を得ざるに至るべきを慮り宿舍に充て外部との交通は成るべく爲さゞる方針なりと云ふ

●韓國學生監督の死去

韓政府より日本留學生監督の爲め派遣したる申海永氏は赴任の途中門司にて虎拉列に罹り別項東電の如く一昨夜六時遂に死去したり之が爲めに魚編輯局長は主事一名を伴ひ昨晚出發渡日の途に就けり同氏は慶應義塾出身にて學政上功勞尠からざるを以て特に位階を昇敍し勳等を進むべく目下內申中

●裁判所飜譯官補採用

法部は今回裁判所飜譯官補(日本人)五十名を採用することに決定し來る十月十日之が採用試驗を擧行する由なるが志願者は十月八日迄に請願書及履歷書(在職者は該廳長官許可書添)を提出すべし當日應試者は筆墨硯携帶午前九時法官養成所に出頭すべし

●度量衡法と府令發布

今回韓政府より發布したる改正度量衡法は既に一般の知悉せる如く日本制度を採用せるものなるが之が爲めに統監府にては在韓日本人にも該法を適用する事とし以て彼我共通の利便を享有せしめんと欲し兩三日中府令を以て之に關する共助法を發布す可し

●紀念寫眞の締切期日

前統監伊藤公爵紀念への爲め同公統監在職當時韓國に在勤せる日本人各高等官中有志の寫眞を纏め一定の式に復寫製本の上贈呈の計畫ある趣は既に記載せる所なるが右寫眞蒐集期限は來る十月十日締切の由にて期限後の申込は一切取扱はざる方針なりと

●日本觀光團員の遊說

過般平南龍岡郡に於て日本觀光團員安升玉の觀光演說あり要は日本の文物制度の進步を說き日本人の氣風に及んでは秀吉の征韓を壯擧と賞揚し以て韓人の退嬰自屈を責め向上發達を促したり

●韓國の鐵鑛に就て

(中村製鐵所長の談)

▲韓鐵の鐵質 今回渡來の用向は栽寧方面鐵鑛視察の爲めなるが製鐵所に使用せる韓鐵は褐鐵鑛主にして其次は赤鐵鑛なり總して酸化强く最も製鐵原料に可なれども鐵分のパーセンテージ低く且つ採掘費の不廉なるは遺憾なり南淸大冶產は六十より六十三四パーセントの間にして夫以下は採らず

▲韓淸の比較 大冶產は主もに磁鐵鑛にして日本產の同種に比すれば良質なり淸鐵は六十乃至六十四なるに韓鐵は五十乃至五十五パーセントを最高とす價格は淸鐵一噸七圓弱韓鐵六圓弱にして約一圓の差なるが品質佳良なるも經濟上より打算し韓鐵は今一段の廉なるを要す產地見分の上經濟上向削減の餘地あらば今后韓鐵を需要せん積なり

▲需要額過半 需用以來僅々一兩年のことなれども製鐵所一年間二十五六萬噸の需要中現今は淸韓產各半額宛を使用し居れり

▲日韓の接近 は是非共經濟共通の途を逸す可らず幼稚なる韓民を指導扶植するは無論先づ彼等に相當なる職業を授るにあらん採鑛の如きは最も適當なるべし故に今回の調査に於ても原料調査と共に此邊に留意す

▲製鐵と黑鉛 製鐵の進步と共に黑鉛の需要又之に伴ふ日本にては近來飛驒より產す鱗狀にして最も坩堝に適す然れども種々事情の下に未だ製鐵所全部の需要を滿すに至らず余は可成內國產を用ゐん考なるも不足なるを以て大部分は錫蘭產を用ゐ居れり韓黑鉛は是迄に見たるは多くは粉末狀なり製鐵坩堝用は鱗狀ならざるべからず粉末狀は鑄型の砂土に和し鑄物の面を平滑ならしむる爲用ゆれども是は用途少量なり

▲製鐵所規模 と諸設備は世界何れへ出すも恥しからぬ程度に整ひ職工の敎育も全く熟せるが要するに今は修練に力を盡しつゝある時代なり

▲種類と產額 鐵の需用は國の强弱を示すメートルなり製鐵所は銑、鍊、鋼の三種中重きを鋼鐵に措けり今や鋼鐵の種類は其用途により無限に擴張さるゝに至れり例之ば同一戰艦のサイドに要する鐵材とも各部に就き各專門の所要あり我製鐵所は殆ど各方面の需要に應ずる設備を有せるも未だ日本上下の需要を滿足せしむる程には至らず但鐵軌は品質數量共一般の需要を充し得て餘有

●安達代議士用向

去る二十二日夜入京不知火旅館に投宿したる大同俱樂部所屬代議士安達謙藏氏は京城に約一週間滯留方面に數日旅行して政治上其他の視察を終へ歸國する筈なるが今回の旅行は本年の議會に於ける韓國問題に對する同派の意見を定むるに必要なる材料を求むる以外何等の意味を有せず殊に競馬問題に對しては氏は前議會に於て之が廢止の急先鋒たりし位にて今回韓國に於て競馬運動を爲すなどは氏の夢にだに思はざる所なりと聞けり

●視察團員の葬儀

愛媛縣視察團員第一班長大野熊太郎氏病死の事は既報の如くなるが在京龍間愛媛縣人及び團員中の無事党は一昨夜八時三十分より遺骨受取の爲め渡韓せる舍弟悌氏を主人公とし明治町淨土宗開敎院に於て鄭重なる供奉を爲したり

●視察團一部出發

愛媛縣視察團一行中原金旅舘に投宿せし十五名は昨朝出發新義州に向ひたり一行は同地一泊後平壤に引返し同地に一泊して歸京し夫れより隔離中なりし一行と合し大野班長の遺骨を擁し馬山を經て歸國の途に就く筈なりと云ふ

●齋藤大佐の着京

統監府間島派出所長齋藤大佐は本日午後八時二十分南大門驛列車にて入京、間島狀況報告の上直ちに東上し永瀧間島領事と面會し事務の打合を爲し同行して來月初旬間島に急行すべしと

●中村局長の渡崎

農商工部農務局長中村彥氏は來る二十五日より長崎市に開催さるべき西南區實業大會より招聘せられ講演の爲め昨朝出發渡崎の途に就きしと

●地方費附加規則

地方費附加規則は內部及度支部の最後の交涉纏りたるを以て近々發布の運びになるべし而して各道はこれに依りて豫算を編成するものなりと

●菊地局長の歸任

北韓航路及び漁業の現況調查の爲め出張中なりし農商工部商工局長菊地武一氏は二十三日夜歸任せり

●獨逸軍艦の解纜

仁川に碇舶中なりし獨逸東洋艦隊旗艦シャルムホルスト號は今朝靑島へ向け同港を拔錨する筈なり

●戶叶薰雄氏東上

大韓日報社長戶叶薰雄氏は明廿五日午前九時南大門出發往復二週間の豫定を以て東上すと云ふ

●仁川諸學校休校

仁川民團立高等女學校及び高等尋常小學校に於ては虎疫豫防の一方法として附近韓人部落に居住する者及び同部落を通過して登校する生徒八名に對し一昨日より暫時休校を命じたりと云ふ

●龍山小學の休校

廿二日授業中吐瀉卒倒せし兒童あり應急手當の後コレラに非ざるとは判明せしも其筋に於ては一同を健康診斷せしめ一週間休校することとしたり

●排日新聞の押收

在浦汐韓人の發行に係る大東共報六十九號は治安妨害の廉に依り昨廿二日其發賣頒布を禁止し押收さる

●獨逸司令官入京

仁川碇舶中の獨逸東洋艦隊司令官イングノール少將以下將校は昨日二番列車にて韓皇へ謁見の爲入京せり

●釜澤監視官出張

仁川稅關釜澤監視官は港務事務視察の爲め昨日往復一ヶ月間の豫定にて門司、神戶、橫濱の諸港に出張せり

●各役所執務時間

仁川理事廳及び民役所商業會議所等の執務時間は去る二十一日より自午前九時至午後四時に改正せらる

公人私人

▲若松兎三郎(平壤理事官) 二十二日入京
▲西和田久學(技師) 同浦尾へ
▲大原孝四郎(憲兵大尉) 同上
▲香川富太郎(陸軍少尉)廿二日退京龍山へ
▲藤原建樹(平壤商議會頭) 歸壤す

近事片々

▲京元線布設を先きにする事に決定せりと理屈は兎に角是が順當其決定は甚だ可し
▲軍事上よりとか或は我東北地方の開發上とかは知らず北日本と黃海の連絡上必要
▲北韓開拓の急務は南韓開發の急に讓らず此點よりすれば枝線の跡廻はしは不止得
▲曾禰統監の病氣見舞として來韓するもの多し統監の病氣は既に快癒したる筈に候
▲岡田治衞武君も病氣見舞に來ると氏の曾禰子に於ける臼井と桂侯位の關係と聞く
▲高木博士下條上院議員も同樣病氣見舞の爲來韓せらるとの報有皆々仰山の次第也
▲安達の謙チャンは蓋し見舞に非ず牧馬事業計畫調査の爲と云ふ果して然るや否や
▲統監府は殖民政策は取らず殖吏政策を取るとは面黑い批評蓋し寸鐵肝を刺す者か
▲未勘金四百萬圓の中回收せるもの僅々十二三萬圓也と全部首尾好く取れたら御慰
▲既に回收と決定したる上は如何なる大官たりともドシ〳〵徵收せよ猶豫斷然不可
▲東三省の淸人有志は日貨排斥は滿洲自滅と反對すと事實ならば淸國亦た人物あり
▲若し滿鐵が淸國貨物の積載を拒絕せば滿洲の商業自滅の外なしと頑固連ギャフン
▲日本の政策は明に露國に對して攻勢的露淸米の三國同盟を結べと例の新時報論ず
▲邪推も玆に至て極端ノーヴァウレミャの突飛なる議論は時々平和に支障を來たす
▲獨帝は淸國の立憲制採用を非なりと評せりとカイゼルは飽迄も英雄主義の人にや
▲自國の立憲制度の儘にならぬ爲め淸國に對して迄も斯く言ふか左らば老婆心過ぐ
▲專制々度は英雄豪傑の好で取る處去ぞ末路は皆憐之に反し華盛頓倫古龍の末路美
▲村井吉兵衞氏米人と共同し韓國に煙草製造會社を起さんと日本の官煙に妨なきか
▲火星の人類は地球の人類よりも三倍有其力は廿七八倍ならんと天文學者は云へり
▲斯る事は何を以て割出せし算當なるか常人より見れば熱に浮かされ居ると斗見ゆ

●一銀支店の竣工期

韓銀成立後現一銀支店は韓國銀行へ引繼ぎ

●地方費の賦課認可

地方費賦課は內部度支部との間に協定中な

●警察部長會議の議事

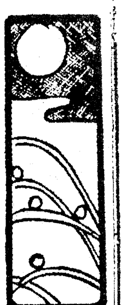
二十三日警察部長會議に於て廉衛生局長の訓示に關する諮り次に公井衛局長は衛生上に付議したり

●仁川高女の改善

仁川民團立高等女學校は應じ新設せられてより着々實績を…るを以て民團當事者は其改善に就き攻究中の由にて遲く共來年度よりは本邦女學校と共通的教授を施さるゝに至るべしと云ふ

…淸洞元器械所跡を借受け事務所に充てん筈にて目下度支部に之れが貸下方を出願せん手續中なりと

…ル夫人の主管に屬する西部仁達坊宗格廣智共新會の祈禱會に於て虎疫に關する演說を爲したりと



彗星も亦接近す

▲七十年目毎に現はる 昨今火星接近の噂で持ち切つて居る我が地球へ向けて又も珍らしい彗星が近づいて來た、星の名はハレー彗星と言つて西暦千七百四年に英國のハレー氏がオックスフォルド大學の幾何學講座擔任中彗星二十四箇の軌道を計算するうちに發見したもので約七十年目に六十八億余哩と註せられたる其の大楕圓の軌道を一週する筈で今回の出現は實にハレー氏歿後三度目の出現に當つて居る、而かも今年の一月頃には既に我地球を距る四億四千萬哩の距離まで進み來て居たもので此の秋末には肉眼を以て見られ得るのみならず冬になつたら明に其の全光芒を認むるとが出來る、斯くて最近日點に達するのは來年の四月十三日夫から次第に太陽を遠かつて却て地球へ接近して來るので五月十八日頃には地球との距離千二百萬哩余と測算せられて居るのだから昨今の火星と地球の距離の半分よりも近い譯だがさて其の次には何んな天空の珍客が見ゆるだらう

京城市內の虎疫續報

▲新患者續々發生す 京城仁達坊戰關洞九十六統十一戶池逸燦方居住無職李奎煌（五六）は二十一日午後二時罹病一昨日午後三時死亡△仁達坊戰關八十五統六戶無職成啓鎬（七一）は虎疫にて廿二日午後死亡△仁達坊上龜浦洞七十九統三戶具滋嬿の母趙姓女（五七）は廿一日正午發病し廿二日午後十一時死亡△積善坊工后洞十八統二戶池在煌次女池姓女（十七）は廿二日午前六時發病し同日午後二時死亡△仁達坊北門洞十八統四戶李國和三男在甲（九）は廿一日午後三時眞正虎疫にて死亡△慶尙北道奉化郡當時西部仁達坊社洞六十一統十戶警第三百九十三號李宗方居住學生鄭準猷（二三）は廿一日虎疫に罹り廿二日午後五時南大門外濟衆病院にて死亡△仁達坊內淩洞九十一統九戶警第二十五號金永敏（四二）は廿一日午後四時虎疫にて死亡△仁達坊社洞四十一統五戶洪慶裕妻安姓女（三三）は廿一日午後十一時發病し同日午後十二時過ぎ死亡死体は光熙門外傳染院墓地へ埋葬す△積善坊司醞洞四十一統一戶趙重漢方下人洪致文妻金氏（三八）は廿二日午後六時罹病西署山本警察醫診察の結果眞正虎列拉と確定香坡病院に收容す△小洞五十八統二戶皆周（六二）は廿二日桃實を食し虎疫に罹り消毒の上隔離中△石井洞八統二戶百南明は廿二日虎疫にて死亡△□町二丁目人力車停車場李君明（二四）は廿二日午前十一時眞正虎列拉に罹る△倉洞七十八統七戶許稜方朴元八の長男德八（九）は廿二日コレラ病に罹り隔離中△原籍石川縣平民當時京城黃金町一丁目山口萬次郎方寄留野村銀次郎（三〇）は廿一日午後一時眞正虎疫に罹り廿二日傳染病院に送らる△本町二丁目遊谷けい（二九）は廿二日コレラに罹り附近一帶の消毒を勵行し患者は隔離中△旭町三丁目細井かよ（三四）は廿二日虎疫に罹り傳染病院に收容せらる△明治町三十二番戶原一郎（三一）は廿二日午前九時眞正虎病に罹る△永樂町二丁目藤井專之助妻はり（三〇）は一昨日眞正虎疫に罹り附近の交通遮斷を爲す

○むら子に　豚廼舍
出來合ひの一言一句御高說
○豚廼舍子へ　むら
御近所に塞ぐ穴でも御坐てか　豚廼舍
○慈善家
分析の結果虛榮が九分九厘　同上
○某會會頭
內職にや今も高利は取のなり　同上
○新消毒藥
れ役所の腐敗消毒免字酸　同上
○統監府員の愚痴
三人の主人の機嫌取る辛らさ　同上

龍山方面虎疫新患者

▲新患者六名……死亡四名 廿二日中に於ける新患者は元町四丁目韓人材木商車衍麟方雇木挽職鄭宇鉉（二九）漢江通り二六の二〇朴氏孫男（七）沙林里十統八戶金敎振方雇人權三甫（四十）立石里五統五戶李君日（五十）同所六統九戶庶景元二男老男（三）麻浦十統四戶金永先（六十）の六名にして內朴の孫及び金永先の二名は即日死亡したり猶過日來發病隔離中なりし李春鳳及金氏の二名も同日死亡したりと云ふ

仁川海岸の虎疫

仁川の韓人部落に於ける虎列拉は一時猖獗を極め殆ど手の附け樣さへなき狀態なりしも其筋の係員が寢食を忘れて防遏に盡したる結果現に一昨日の如き松山里に張順一の男（八）一名の新患者發生したるのみにて殊に四名の全治者さへ發見したりしに遺憾なる哉同日午後六時頃朝鮮水產組合下村技師より海岸町沿岸に繫留せる傳馬船內に日本人一名死亡し居れる旨仁川署に屆出でしにぞ警官及び檢疫醫は時をも移さず同船に出張して診斷したるに全く劇烈なる虎列拉にて死亡し既に死後十時間以上を經過したる者と判明せしかば即刻同船は嚴重なる消毒を施し屍体は知人なる仲町三丁目宮崎利太郎に引渡したり因に右死亡者は原籍熊本縣天草郡湯島村森國松（四三）と云へる漁夫にして病系統は更に判明せずと雖も聞く處に依れば右國松は龍湖島附近より數日前歸來せしものゝ由なれば或は同島にて病毒に感染したるものならずやと云へり

韓人の鷄姦騷ぎ

京城東部相思洞居住の林支成と云ふは其弟の斗金（十九）と云ふが仁川月尾島の工事場に滯在し居れるを尋ね來りたる處之より先き同工事場に朴聖德（三十）と名前丈けは大層有り難き一韓人あり右斗金の美貌を見て野心を起し無理遣りに同人をば一室に拘禁して一歩も外出せしめず夜間に及ぶや件の聖德は其弟朴千成と諸共に聞くだに忌々しき鷄姦の蠻行を恣にしつゝある矢先き斗金の兄に當る前記支成は一昨日遙々京城より尋ね來りて弟を連れ歸らんとせしに聖德は容易に渡さず歸らば打ち殺さんと脅迫するものから詮方盡きて其の旨仁川署に訴出でしかば警官は同島に出張して聖德をば本署に引致し說諭の上斗金は兄に引渡して事濟みたりと

日韓人の水掛け論

京城本町八丁目材木商雀載哲は廿一日午後大和町一丁目に於て交通遮斷に從事中本町七丁目一番戶長谷川某より荷車一臺を差押られたる旨訴出たるに依り南部署係官長谷川に就て取調たるところ雀が當日材木を荷車に滿載して前記長谷川方前を通行の際誤つて材木が長谷川方の硝子戶に突き當り硝子一枚破壞せるに付き其代價二圓の辨償を求めしに雀は其請求の餘り高きに失すとて取合はざるに立腹し斯く荷車を沒收したる由申出たるに依り雀に相當代金を辨償せしめて示談にす

大木戶は准橫綱

吉田家にては大阪角力大木戶の橫綱免許願に對し准橫綱とも云ふべき故實ある格の免許を與ふるとに決したり是は露拂太刀持を隨へ土俵入をなし橫綱を掛けぬだけの相違にて先例としては東京朝汐、大阪の八陣に此事ありまた行司木村庄之助も同樣先年之を許されたりと

韓泥棒の四苦尻

目下住所不定李壽萎（二七）は一昨日午前二時卅分頃京城旭町二の十七洗張業島田勘次郎方の前雨戶を押開きて忍び込み洗張反物數反を窃取せし所を家人に發見せられ訴に依り出張せる南部署巡査の爲めに同町五番戶表通りにて難なく逮捕せられ本署に引致し目下嚴重取調中

擔夫を撲り飛す

一昨日午後四時卅分頃壽町二の九十一洗濯業三木熊七（三七）は西小門外居住チゲ李春明（五二）を旭町二丁目街道に於て爭論の結果李の鼻柱を强か毆打せる廉に依り兩人とも南部署に連行せられ結局熊七より治療代廿錢を支拂ふて事濟

博徒の珠數縛ぎ

一昨日午後十二時頃西部署青坡派出所詰崔巡査は管內巡邏中慶尙道尙部郡外面羅州村居李致祚（三九）同郡金田場居韓光元（二四）同郡孔瑞玉山村崔光三（三二）の三名が賭博開帳中踏込み三名共捕縛し場錢二圓五十錢五厘及び紙製札十五枚を押收し本署に引致松田警部一應取調の結果賭博現行犯として其儘留置せらる

五十圓の株券拾得

仁川大韓日報支局屋韓人私関源と云ふは一昨日杻峴驛にて松村松次郎の名義なる龍山水產會社の五十圓株券三枚を拾得して仁川署に屆出でたり

●正誤●

御社九月二十一日發行の三面雜報欄內京城虎疫彙報記事中蓬萊町十番戶畠山平吉方藤田しめ疑似虎列拉に罹り云々御記載有之候も右は本町三丁目町田小間物店に雇はれ中去十六日病氣に罹り臥床中町田家に掃除の爲め十八日午後八時頃一時拙者貸家に罷越したるものにて決して拙宅に於て發病したるものに無之弊店に於ては各官衙を始め其他請負事業に對し非常なる差支を生じ候間御取消被下度此段申込候也
明治四十二年九月廿二日 蓬萊町二丁目七番戶 畠山平吉

仁川花柳界片信

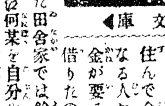
淺岡の花奴と云へば仁川の花柳界にて容貌は頗的振はぬ方なれば藝にかけては中々の達人で殊に其の滑稽踊の如きは天下一品の稱さへありたるが如何なる譯にや一昨日其筋に鑑札を突き戾したり▲尙ほ鱗の小鶴は色男が京城に居るので嬉曳の爲め昨日より向ふ一週間の旅行屆を其筋に提出して南山町の東崎で珍鴨のた樂しみとは易くないね

吉凶鏡

本町五丁目 三一舘判斷

●九月二十四日●舊八月十日●一白丁亥みつ大安△一白 窮厄の日万戒飭を要す盜害遺失防ぐべし△二黑 不如意の事多し新事見合たるべし農林の業には吉△三碧 利達の日なり活動を奏す兒孫使用人の事に留意すべし△四綠 快心の日なり收利あり他人より面白き相談を受くるあり△五黃 不活潑の行動を戒しむ、酒色に沈湎するなかれ△六白 家を分ち業を分つ等吉其外平凡△七赤 窮して自から通ずるの日なり必ず活通の路ありとす△八白 鼠害紛失詭計誘惑防ぐべし但し鑿井灌漑の工業には吉△九紫 骨折損となる事あり見込不確定の業務に差手を戒しむ右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同舘の鑑定を請はる可し

●本日 秋季皇靈祭に付 明日休刊●

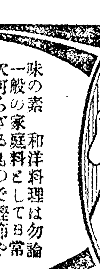


平民文庫

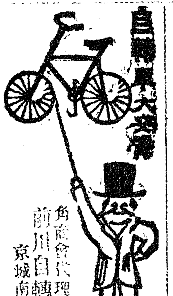
▲太平町の田舍家と云へば御存じの界隈限つての淫賣屋である▲此の頃座敷を建築するとかで元宮內府の警部であつたが今では拓殖會社の門內に住んで金貸しを業とせる何某なる人から金を借り入れた▲金が要るから金貸から夫れを借りたのには不思議はない、が借りた田舍家では餘程有り難く感じたものと見えて何某を自分の宅に招待して手前のもの〻料理を馳走した▲處で何某殿無代と云ふ所から飮むは食ふは饑饉年の乞食が施し粥に有り付いた如出るもの出るもの物も美事に夷げた、夫れでも能く膳、椀、小鉢の類が殘つたこと〻家內舉つて不思議がつた程だと云ふ▲金貸先生幾ら食ふと云つても高が知れた胃袋幾ら呑んだ所で此れ又多寡の知れた酒袋忽ちにして滿腹爛醉の大機嫌、モウ此れで不足はない筈であるのに何うしたことか未だ何にやら物足らぬ面地▲不思議な事と亭主小首を傾けたが聽ての事に小膝を礑と打つて酌婦のれ何一人を侍らして其の餘の女どもは悉く引き退らせた▲すると先生の御機嫌は最頂天に達してナニ金の事なら何時でも用立てるよとの御託宣もあつた程▲此の事あつて三日程すると先生の股間に無花果程の腫物が出來た此れぞ本名橫痃と申すものと知れて先生吃驚敗亡▲息子女房の手前もある御馳走も斯う念入りでは閉口だ、ア、過ぎたるは猶は及ばざるが如しとは此所の事孔子樣は豪いナアと感心ど恐痴を搗き混せて却つて田舍家を恨んで居るげな（係）▲太平町の二葉の仲居は店に立寄る客を捉へるさ『此の邊には珍らしい酌婦が來ましたから遊びなさい』と（通行人）▲西小門の日の出亭に居たれ菊と云ふ酌婦は此頃誰れの胤とも判らぬのを孕んで大和町邊の溫突に潛んで青い息を吹いて居る（事情通）▲此の頃往來で女が臀をひんまくつて立ち小便をして居るのを見受ける何所の士ン百姓の嚊アかと思へば仲々左樣でない立派な奧さんだれ愼しみにならないと蛇や蛙に見込まれますよ（への字）▲過日の紙上にあつた花月のれ福が食道樂で暴れた時のれ客は寺尾さんではありません浦尾に宿つて居た客には相違ないが人が違ひます（能知生）▲豚廼舍君ドシ〳〵寄來して下さい（むら）▲啓上投書を歡迎致し候謹言（係）

銘酒 一鶴

廣告

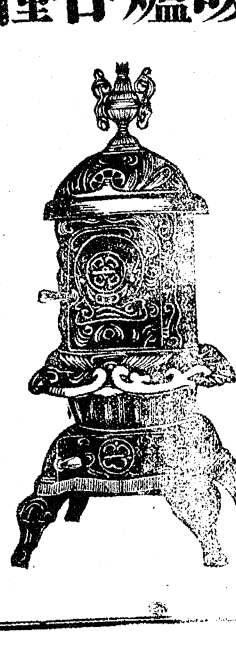


味の素 和洋料理は勿論一般の家庭料として日常欠可らざるもので鰹節や昆布の樣に色々面倒な手數も入らず誰れにでも即座に用ひ得らるゝ調法及經濟的調味品であります
定價一瓶四十五錢 三十錢 他地方は引換小包にて送ります
韓國特約店 京城 辻屋 電話二四八番



自轉車大安賣
角商會代理店 前川自轉車店 京城南大門橫

洋服 毛布 やすくうります 原雄吉 京城赤門橫

暖爐各種

煙突取付並ニ煙突掃除大勉强
電四七一番 京城本町五丁目角一番戶 馬木勇吉
電三六四番 龍山山下町兵器廠官舍道入口 馬木支店
廣告

齒科治療
女子見習生募集委細面談
本町六丁目 ドクトル 中村安子 （蕎そば橫町）

至急稟告
明治屋は昨今惡疫流行に際し左の品々御使用を御勸め申上候
○○ブランデー ○○ウイスキー
○○リキユアー ○○クラレット類
右は御最寄の食料品店にも販賣致居候に付き殊に精良品御撰擇肝要に御座候
合名會社 明治屋 本町三丁目 京城支店 電話貳壹貳番

荒物世帯道具一切 卸小賣
大阪 合製白絞油 和洋蠟燭
和傘 岐阜提灯 魚釣道具
地方在住の各位には御申越あり次第代金引替證付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候尙弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候
荒物世帯道具 各國諸油米穀 銘酒澤龜 アサヒ サツポロ 麥酒 並に買次業
京城本町六丁目 西崎嘉七本店
電話長二一〇 電略（ニカ又はニ） 振替貯金口座東京（九四一七番）

……一銀支店は同店橫に建築中なる建物を宿舍に充用する筈なるが右竣工期は十月末の由
……豫算を編成し內部に提出すること〻
衛生に關する諸の指示事項に付協議する所ありたり尙午後は警察署及び分署機關警務任命方法等……
女學校は韓に新設せられしより着々實果を舉げつゝあり雖も單に技藝科のみに偏し本邦に於ける同校と比較せば遙かに遜色あり……
●工業會社事務所 退職將校等の發起に係る大韓工業會社は今般北部安國坊三十……
●虎疫流行と演說 西北學會の鄭雲復は……二十一日米國南美以敎會米國宣敎師カップ……爲したりと

各種洗濯石鹼專門製造販賣

用途 陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道湯屋、散髮、諸工業用

京城旭町二丁目（電話九七三番）

朝日石鹼製造所

開業廣告

秋冷相催候處益々御清榮奉欣賀候陳者從來種々御愛顧を蒙り難有御厚禮申上候豫々各位の御勸めもあり且つ自分も韓國商況狀態に付ては研究中の處漸く時季到來今般開業仕候次第に御座候然れども同業者多數有之事故弊店の前途は一に各位の御眷顧に據らざるべからず何卒倍舊の御引立あらむ事を只管奉願上候　敬具

中津原炭 大任炭 龍山代理店
福母炭、撫順炭特約販賣店
永同木炭特約販賣店
清酒清力特約販賣店
キリンビール特約販賣店
やま王足袋取次販賣店
高崎製金庫特約販賣店
陸軍諸官衙御用達

歐米雜貨 食料品 和洋酒 煙草

Ⓡ

龍山新市街山下町一丁目

龍山兄弟商會

主 小泉菊太郎 佐藤豊

電話架設中（取次電話百四十八番）

入院隨意

諸般の設備を改善して一般診療に從事す

內科小兒科部長院長 安藤一郎
皮膚病花柳病外科部長 醫學士 鶴田善重
產科婦人科部長 醫學士 山添喜代藏
耳鼻咽喉科部長 石田誠

診療時間每日自八時至後二時（但日曜大祭日休業）

京城明治町一丁目 電話十二番

漢城病院

消毒用デシンフォルマリン外一式
病虫害驅除豫防藥一式
工業用藥品一式
農具種子苗木肥料類

京城本町一丁目（長谷川町筋） 三輪商會 電話三八六番

電話開通 三百貳拾九番

牛豚鷄肉卸小賣 大販賣

本町一丁目三巴酒店前

明治町一丁目 石田精肉店出張所 電話千〇四十二番

たからや

●花柳病一般、痔疾注射療法

神戸資生分院 京城梅毒病院

新築落成入院隨意 京城相生町（南門湯隣）

院長 元兵庫縣福原驅梅病院醫長 醫學得業士 蘆田耕平

明治廿年七月創立● 京城代辨店 本町四山口呉服店 電話九番

東京火災運送海上保險株式會社

資本金一千萬圓● 事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

急告

東京足袋着荷

本日より賣出し

本店東京 京城大和町一丁目日の出橋際 電話二〇五番 藤井出張店

新荷着廣告

上等 トルコ煙草 金口 キルクロ 百本入、五十本入、廿本入、十本入 各種
上等 ロシア煙草 百本入 廿本入 各種
上等 葉巻煙草 マニラ ハバナ 百本入、五十本入、廿五本入 各種

右今般多數着荷仕候に付特別安價を以て販賣仕候間多少に不拘御購求被下度尚地方よりの御注文は引換郵便にて迅速に御送附可申上候間續々御注文被下度偏に奉希上候

京城本町四丁目角

デーエスパネリス商會

（取次電話九五六番 パネリス）

仁川本町四丁目 穎原兄弟商會

日韓印刷株式會社

遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候

本社 京城明治町三丁目 電話三二三番
出張所 東京麴町區麴町八丁目十九番地 電話番町二九〇番

營業科目
活版、石版、銅版各種印刷
帳簿裝釘、書籍製本及ビ印刷
諸材料販賣

●祝開業三週年●

江湖御客樣方の御引立に預り日まして繁榮に赴き誠に難有仕合に奉存候就きましては本年は恰も開業三週年に相當致候得者自祝の意を表する爲め當分の内左記之通り特別大勉強仕候間賑々敷御光來の程伏して奉待上候 あら〳〵可祝

會席一膳附 並等 壹圓 上等 壹圓半 特等 貳圓

但御酒は上記代金の内にて召上り次第

尚々十人以上の御宴會は御人數に應じ花代なしにて相應の藝妓をして御座敷を斡旋致させ申候

京城大和町三丁目 電話七三五

梅の家

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

大上商店

（電話二五一番）

和洋酒、Ⓞ精酢、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

綿わた ワタ

たやすくうります

ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋反物類

京城明治町一丁目四ッ角

卸問屋 唐川商店 電話二六一番

入院隨意

南山町二丁目 電話六七五番

松岡醫院

各科診療

卸 小賣

京城本町五丁目 電話九九七番 富士の里茶舗

內外科 產科 小兒科 花柳病

京城旭町一丁目三二六番戸

安東病院 電話七十三番

入院隨意

日本郵船株式會社 瀛船仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店 仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 九月二十六日午後三時
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 十月十四日正午時出
●大連、大沽、牛莊行 山東丸 月 日午前四時
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 九月三十日正午時出
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 十月六日午後出

御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 一枚金二錢 一ヶ月前金三十五錢 三ヶ月 六ヶ月前金貳圓 一ヶ年前金
●廣告料 五號活字十九字詰一行一回金十錢 廣告五號活字十九字詰一行金六十錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 額久神一郎
發行所 京城新報社 京城西署西小門通 電話六六三番